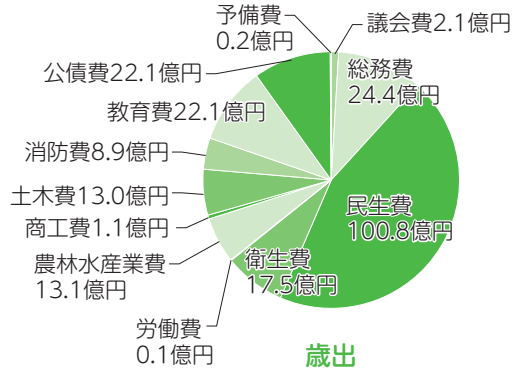
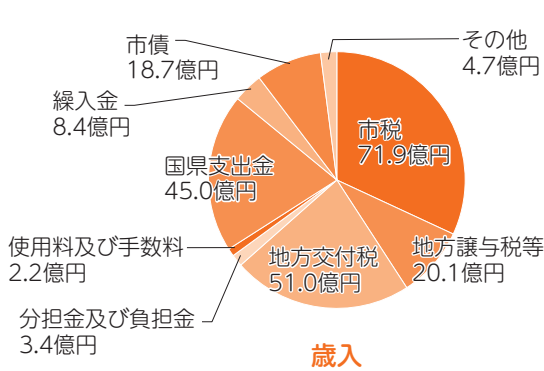
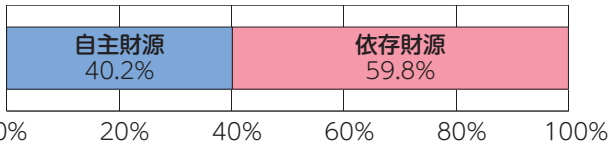


令和3年度 一般会計当初予算額 225億4,000万円



※表示単位未満で四捨五入をしているため、合計と一致しない場合があります。

自主財源と依存財源の比率



memo

- **自主財源**…地方公共団体が自主的に収入できる財源 (市税・分担金・負担金・使用料・手数料など)
- **依存財源**…国や県などの決定により収入される財源 (地方交付税・国県支出金・市債など)

市債残高・基金残高の推移 (市全体)

○基金(貯金)の推移

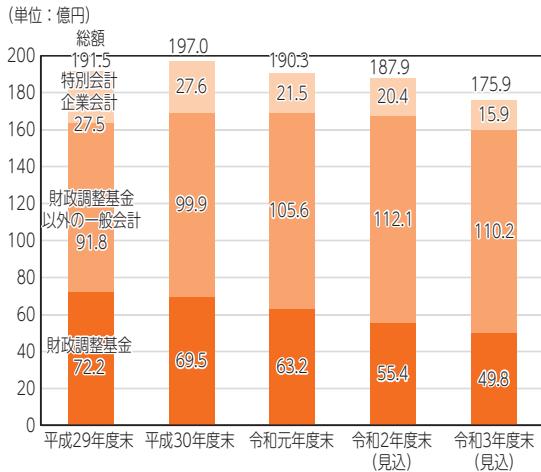
使いみちが自由な基金 (貯金)
 令和3年度末残高(見込) 49億8,267万円

- 財政調整基金

使いみちが限定されている基金 (貯金)
 令和3年度末残高(見込) 126億431万円

- 減債基金
- 農業集落排水事業等基金
- 公共事業整備基金
- 地域づくり振興基金 など

○公共事業整備基金は、老朽化が進む公共施設の修繕および更新費用などに活用していきます



○市債(借金)の推移

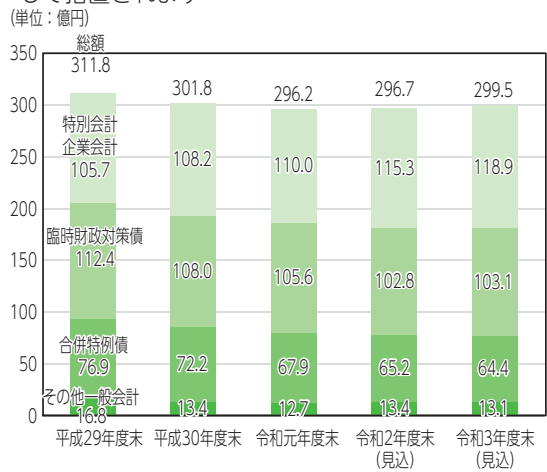
主な市債

合併特別債
 令和3年度末残高(見込) 64億4,066万円

合併後のまちづくりのために借り入れるもので、元利償還額(返済する元金と利子)のうち70%が普通交付税として措置されます

臨時財政対策債
 令和3年度末残高(見込) 103億577万円

交付税原資の不足分を、国に代わって市が借り入れをしているもので、元利償還額の100%が普通交付税として措置されます



このようなか、令和3年度当初予算は骨格予算となり、義務的経費や継続事業、年度当初から事業を行わなければ事業執行に支障をきたすものを計上しました。

一般会計は、225億4千万円となり、令和2年度当初予算額と比較して10億600万円4.7%増となりました。

特別会計と企業会計を含めた総額では405億6千266万4千円となり、令和2年度当初予算額と比較し、11億4千846万6千円2.9%増となりました。

市の財政状況は、歳入については、近年堅調に推移した市税が、新型コロナウイルス感染症の影響により減収が見込まれ、国からの地方交付税も市町村合併以来の特例による増額分が終了し、本来の交付税となることから財源確保が厳しい状況となります。

一方、歳出については、社会保障経費の増加に伴う扶助費や特別・企業会計への繰入金も依然として増加が見込まれ、道の駅周辺整備事業に関する経費や公共施設の整備・長寿命化対策に要する経費も増えていくことが予想され、一段と厳しい財政状況が見込まれています。

令和3年度の予算編成について